

全体プロセス～「まなん」で「ためす」

防災と社会のデザイン

～ハザードマップのデザイン～

実施責任者：林春男（防災研）
北雄介（デザイン学ユニット）

実施協力者：牧紀男（防災研）、下境敏広・ト部謙信
(防災デザイン研究会)他、防災デザイン研究会の方々

受講者：佐藤 那央（経営管理教育学部 経営管理専攻）
田中 隆太（工学研究科機械理工学専攻）
古川 孝太郎（情報学研究科・知能情報学専攻）



学校向け教材

記憶に残る

参加型

京大生

留学生

外国人観光客

興味関心

言葉の壁

地震を知らない

短期滞在

「外国人観光客」

観光地

地理に慣れれ

飛行機

ディスカッション

コンセプト

1. 外国人観光客に必要な情報

- ・何が起こるか、何をするか（できなくなる事、すべき事）
- ・帰国方法
- ・そもそも地震とは
- ・分かりやすい地図
(+α: Wi-Fiエリア、歩道所要時間、病院の場所、外国人に優しいところ)

2. 「分かりやすい」デザイン

- ・全面を通して言葉を少なく
- ・写真やピクトで構成

3. 手にとって貰えるようなデザイン

- ・キャッチコピー
- ・形

すべき事

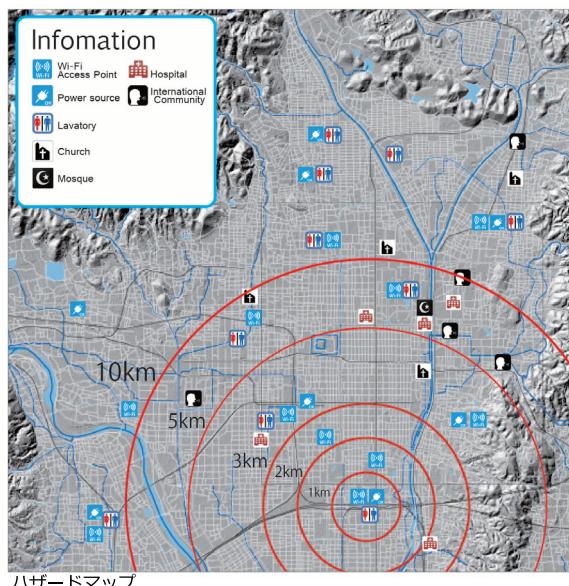


地震とは



できなくなる事

表紙「日本からの脱出」



- ★盛り込む情報
- ・Wi-Fiエリア
 - ・電源
 - ・トイレ
 - ・外国人に優しいところ
 - ・病院
 - ・歩道所要時間
 - ・観光地



設置イメージ

